



国際シンポジウム 「文化遺産の持続的発展—観光とまちづくりの結びつきから」

文化遺産をより持続的に将来に継承していくためには、動態活用（例えば歴史的な建造物を店舗等に転用すること）にも取り組み、観光やまちづくりに活かしていくことが重要になっています。文化遺産の本質的価値の重要性に加えて、文化が経済的価値の創造、まちづくり、地域活性化にも貢献できることへの認識が今日では高まっており、近年の文化政策もこうした動きを加速化させようとしています。

しかし、地方自治体の現場では行政内での文化財関係と商工や観光担当、さらには行政の外にある旅行事業者、地域住民など多様なステークホルダーとの対話はこれまで少なく、戸惑いが起きているようです。活動に必要な資金をどのように調達するか、どういったスキームが受け皿となるべきか、そして活動から生まれる利益を文化に再投資していくにはどうしたらよいか、今日の文化遺産の継承に突き付けられた課題を本シンポジウムでは考えていきます。後半のパネルでは、文化遺産を活用した観光まちづくりの事例報告、文化観光者の特性に関する調査報告なども含め、専門家たちがそれぞれの立場から議論を展開します。

本シンポジウムは、**学術関係者のみならず、広く地方自治体や文化遺産の保存と活用の現場に携わる実務者たちに向けて企画されています。ぜひお気軽にご参加下さい。**

日 付：2022年3月29日（火）

時 間：16:00 - 18:00

形 式：オンラインZOOMウェビナー 録画アーカイブも後日公開します。

**（当日ご都合のつかない方もお申込みいただければ、
後日アーカイブのリンク先をご案内させていただきます。）**

参加費：無料 申し込みフォームはこちら→

[HTTPS://FORMS.GLE/YX47YQMKQIZ4OGZn7](https://forms.gle/YX47YQMKQIZ4OGZn7)



プログラム：

16:00-16:05 主催者開会挨拶

16:05-16:30 基調講演（ガイド・フェリーリ）

**「イタリアにおける文化遺産の活用：発展と今後の課題」
（日本語字幕付き）**

-プロフィール-

ガイド・フェリーリ（Guido Ferilli）

IULM大学（ミラノ）准教授、同大学文化産業と複雑系研究所長。
文化経済学と地域経済を専門とし、文化経済と地域発展に関する
研究調査と政策立案に関するコンサルティングをヨーロッパで広
く行っている。日本にも造詣が深い。



16:30-16:35 休憩

16:35-17:55 パネルディスカッション

八木匡（同志社大学教授、文化経済学）

村中元（一般社団法人キタ・マネジメント事務局次長）

矢ヶ崎紀子（東京女子大学教授、文化観光）

土屋正臣（城西大学准教授、文化財・博物館学）

河島伸子（モデレーター、同志社大学教授、文化政策学）

お問い合わせ先：同志社大学

創造経済研究センター事務局

TEL：075-251-3728 / FAX：075-251-3727

E-mail：rc-csce@mail.doshisha.ac.jp

国際シンポジウム 「文化遺産の持続的発展—観光とまちづくりの結びつきから」

パネルディスカッション登壇者プロフィール

河島 伸子 (かわしま のぶこ) 同志社大学 経済学部 教授

本研究プロジェクトリーダー。PhD (文化政策学、英国ウォーリック大学)
専門は文化経済学、文化政策論、アートマネジメント論、コンテンツ産業論など
主書に『コンテンツ産業論第2版』、共著に『新時代のミュージアム』
『変貌する日本のコンテンツ産業』『イギリス映画と文化政策』
『グローバル化する文化政策』『文化政策学』『アーツマネジメント』
Film Policy in a Globalized Cultural Economy (with John Hill [eds], Routledge, 2017)、
Asian Cultural Flows (with Hye-Kyung Lee [eds], Springer, 2018)など。
文化審議会委員、同文化政策部会部会長、同無形文化遺産部会委員などを務める。



八木 匡 (やぎ ただし) 同志社大学 経済学部 教授

専門：公共経済学、スポーツ経済学、文化経済学、教育経済学 経済学博士
名古屋大学大学院経済学研究科博士課程単位満了退学
京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、
現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事(2002年～2007年)、
文化経済学会<日本>会長 (2018年～2020年)
主著：European Economic Review等海外学術雑誌等に論文を多数掲載
『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、
The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality等の著書を執筆



愛媛県大洲市 村中 元 (むらなか はじめ) 一般社団法人キタ・マネジメント 事務局次長

1997年大洲市役所入庁、文化財保全、大洲城復元、地方財政、
市長秘書を経て2015年から官民連携による観光まちづくりに携わる。
これまで大洲市の観光戦略に係る諸計画を作成し、地域DMOの
一般社団法人キタ・マネジメントを設立。歴史的資源の活用事業などを実施。
2020年4月から現職。官と民の間組織としての地域DMOを運営しながら、
地域の持続的な発展のためのまちづくりシステムを展開中。



矢ヶ崎 紀子 (やがさき のりこ) 東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 コミュニティ構想専攻 教授

住友銀行、日本総合研究所上席主任研究員を経て、2008年の観光庁設立に
官民交流人事にて参加。同参事官(観光経済担当)として訪日外国人消費動向調査等の
観光統計の整備、観光白書、休日改革等の観光需要平準化などを担当。
首都大学東京都市環境学部特任准教授、東洋大学国際観光学部教授を経て、
2019年4月から現職。国土交通省交通政策審議会観光分科会会長。



土屋 正臣 (つちや まさおみ) 城西大学現代政策学部 准教授

藤岡市教育委員会を経て、現職。
大田区文化振興推進協議会文化施設のあり方分科会委員などを務める。
主著に『市民参加型調査が文化を変える：野尻湖発掘の文化資源学的考察』美学出版 (2017)
『新時代のミュージアム：変わる文化政策と新たな期待』ミネルヴァ書房 (2020)
『法から学ぶ文化政策』有斐閣 (2021)、『自治体文化行政レッスン55』美学出版 (2022) など。



お問い合わせ先:同志社大学
創造経済研究センター事務局
TEL: 075-251-3728 / FAX: 075-251-3727
E-mail: rc-csce@mail.doshisha.ac.jp